

心の健康を保つためにも

府市町村保健師協議会研修会



府市町村保健師協議会一日研修会が、11月2日（金）、府国保連合会で開催され、約50名の保健師が参加した。青山潤子会長の開会挨拶の後、来賓として府健康対策課の中本晴夫課長が挨拶した。



山口氏

講演前半では、京都府家庭支援総合センターの山口徹氏が、「いざ相談を受けた時あなたならどう動く？～ひきこもり事例における保健師の役割・連携について～」というテーマで講演を行った。ひきこもり時の本人の精神状態や周囲の対応など具体的な説明の後でグループワークを行うことで、よりリアルな対応を想定できる内容となった。

続いて、東北大学院医学系研究科医学部保健学科専攻の平野かよ子教授が「ケアハラスメント、あなたも被害者かもしれない～暴力防止マニュアルによるその対応と対策～」と題して、現場で起きているケアハラスメントの現状を具体的な事例をあげ講演を行った。また、講演で使用した「暴力防止マニュアル」の冊子を持ち帰ることにより、各所属市町村で情報共有を行うこととした。



平野教授